

事業所名		コージーブリーズ		
		チェック項目	はい	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0

評価結果

公表日 令和7年 3月 31日

工夫している点	課題や改善すべき点
スペースを考慮した活動内容を行っている。	適切な環境、スペースを考えながら、支援を行っています。
活動中に児童のグループ分けを行い、落ち着いて取り組めるよう環境を作っている。	職員の振り分け、役割を細かく分担し、対応していきます。
段差や危険個所には柔らかい素材の物を使用したり、十分注意して対応している。	集中力の妨げにならないような配置を心掛け、環境設定を行っています。
毎日の清掃、消毒を必ず行っております。お子さまが過ごしやすい環境づくりを行っている。	継続して、お子さまが過ごしやすい環境づくりを行っています。
クールダウンできる部屋を準備しており、日々対応している。	事前にお子様には、落ち着く部屋を伝え、安心して過ごせる環境作りを継続して行っています。
職員会議を開き、支援方法や業務改善など課題を出し合い、その結果を分析しよりよい支援を行っている。	今後も職員間で十分に話し合いながら、よりよい支援を行っています。
職員で周知し、改善が必要な点は、対応策を全員で話し合い、改善できるよう努めている。	ご意見をいただいた際は、しっかりと把握し、業務改善につなげていきます。
職員で周知し、改善が必要な点は、対応策を全員で話し合い、改善できるよう努めている。	職員間で課題や問題点をしっかり話し合い、業務改善につなげていきます。
外部講師を招き、研修や支援についての助言等はいいただいている。	第三者評価制度については、検討していきたいと思います。
定期的に、療育センターに研修の依頼を行っている。事業所内でも必要に応じて研修を行っている。	今後も定期的に研修等を行いながら、職員の資質向上を行っています。

五領域を基に支援内容や、活動を考えております。HPに掲載しております。	今後もより良いプログラムを検討していきたいと思います。
担当者会議や面談等を通し、子どもと保護者のニーズを把握した上で支援計画書を作成している。	今後もアセスメントを基に職員間で十分に話し合いながら、支援計画の作成を行っていきます。
個別支援計画作成の際には、職員間で会議を行い、作成を行っている。	今後も職員間で会議を行い、お子さまにとってよりよい支援となるよう計画を作成していきます。
職員間で個人の課題や目標を共有し、支援を行っております。	情報や個人の課題等をしっかり共有しながら、支援に取り組んでいきます。
決められたツールを用い、記録等行っております。	職員が見やすく、効率よく記録しやすいツールの検討も行っています。
ガイドラインに沿った個別支援計画を作成している。利用児に応じて具体的な支援内容を記載している。	今後も保護者の皆様から聞き取りを行い、児童一人一人の支援内容を、職員全員で話し合い、支援を検討してまいります。
活動に関わる職員での打ち合わせを丁寧に行っている。	今後も全体で情報を共有しながらチームで取り組んでいきたいと思います。
月に一度以上会議を開き、翌月の活動内容やねらいなどを共通認識のもと話し合っている。	今後も定期的に会議を行い、プログラム、支援内容の検討を行っております。
年間スケジュールを組み、月毎にも様々な領域で支援できるよう工夫している。	児童それぞれに対して、様々な活動内容を考えて、支援を行っていきます。
毎日の朝礼で、活動内容や支援内容を伝えている。	今後も毎朝の朝礼やその他打ち合わせ等を適時行い、支援を行っていきます。
毎日、支援終了後に振り返りや会議を行い、反省、改善点の意見交換を行っている。	今後も継続して、職員間で反省、改善等を話し合いながら、よりよい支援を行っていきます。
記録を毎日取り、支援の内容を検討している。	しっかり記録を残し、児童の支援内容を職員間で検討しながら支援を行っていきます。

半年に一度以上モニタリングを行い、計画の見直しを適時行っている。	今後も継続して、職員間で会議や話し合いを行い、支援内容を考えていきます。
4つの基本動作を踏まえ、活動を行っている。	継続して、ガイドラインに沿った活動や支援内容を考えて対応していきます。
活動の中に個人で選択できるような活動であったり、自分の気持ちを伝えることができるような取り組みを行っている。	継続して、お子さまが自己選択や自己決定ができる力が見に付くような支援や活動を考えて行きます。
担当職員を配置し、会議に参加している。担当外職員にも常に情報共有は行っている。	今後も適切な職員体制で対応してまいります。
ご家庭を中心に連携を取り、対応を行っている。	今後も連携を取れる体制を整えていきます。
必要があれば、会議等に参加し情報の共有を行っている。	今後もしっかり連携を取り、対応していきます。
学校や園と連携を取らせていただき、対応を行っている。	今後もしっかり連携を取り、対応していきます。
関係機関と連携を取らせていただき、対応を行っている。	今後もしっかり連携を取り、対応していきます。
毎年、拠点施設の方からの研修を受けたり、助言をいただいている。	継続して、研修等を受けていき、必要な助言等をいただく機会を設けていきます。
今後検討していく。	保護者の皆さまにご意向に沿って、今後検討していきます。
子ども部会に管理者が代表で参加しており、地域での課題の検討等を行っている。	職員全員の参加は難しいが、全員が情報を共有できるように対応していきます。交流会などで他事業所との連携も取らせていただきたいと思います。
送迎時や、連絡帳を通して、情報の交換をさせていただいている。	今後も、保護者の皆様と連携を取らせていただきながら、支援を行っていきます。
必要な情報等があった際は、こちらから情報をお伝えしている。	保護者の皆さまと一緒に研修等参加が可能な場合は、情報を共有しながら、一緒に取り組んでいきます。

契約時、お時間をいただき説明している。	保護者の皆さまに分かりやすい説明を心掛けていきます。
定期的に面談を行い、ご家族の意向や本人の意思確認等を行い、支援計画を作成している。	継続して、しっかり聞き取りを行いながら計画を作成していきます。
定期的に面談を行い、支援計画の説明を行っている。	継続して、面談等を行いしっかり説明を行っています。
必要があれば、面談等ができる体制を整えている。	保護者の皆様が相談しやすい環境を整えていきます。
年一回保護者会を開催しているが、今後はより多く開催し支援していけるよう検討していく。	保護者の皆さまのご要望等をお伺いして、今後も検討していきます。
必要があれば、面談等ができる体制を整えている。	保護者の皆様が相談しやすい環境を整えていきます。
毎月、お便りを配布している。HPでお子さまの活動の様子をお伝えしている。	写真等個人情報に留意しながら、活動の様子等をより明確にできるよう、改善・検討していきます。
写真使用承諾書をいただいたり、十分注意している。契約時に説明も行っている。	今後も十分注意しながら、対応を行っていきます。
連絡帳を毎回記入したり、お子さま本人が分かりやすい方法で意思疎通を図っている。	今後も、連携を取らせていただきながら対応していきます。
近所の方々の協力のもと、交流させていただく機会を設けている。	地域交流の機会が増えるよう、様々な取組等を今後も検討していく。
職員が、いつでも見れる場所に冊子を作成している。	職員全員が周知できるよう、チェックシート等を使いしっかり共有周知していきます。また、HP等でも詳細を知らせしていきます。
定期的に様々な状況に応じた訓練を行っています。	継続して、訓練、研修等を行っていきます。
事前のアセスメントや、連絡帳等で状況を確認している。	今後も保護者の皆様と情報を共有しながら対応していきます。

契約時、アセスメント時に、保護者の皆さまにお話を伺い対応している。	今後も保護者の皆様、関係機関と情報を共有しながら対応していきます。
定期的に様々な状況に応じた訓練を行っています。	継続して、訓練、研修を行っています。
父母会等で内容について説明を行っているが、具体的な説明が出来ていない部分もある。	具体的な内容についてはHP等で掲載する等検討していきます。
日々振り返りを行い、内容をまとめて職員で共有できるようにしている。	職員全員が、分かりやすいように整理し、共有、周知していけるよう対応していきます。
定期的に研修を行い、セルフチェックシートも毎月行っている。	随時、虐待防止の研修等を行っています。今後も定期的に虐待防止について理解を深め、対応していく。
マニュアルを作成し、適切に対応を行っている。支援の内容についても丁寧に説明を行っている。	事業所のマニュアルにて周知を行っています。定期的に研修等で職員全員の周知徹底に努めていきます。